



# 機械の状態監視を 3軸振動センサで

## IO-Link3軸振動センサ VVB

- 機械の状態に関する指標を自動監視
- アンバランス・ベアリング損傷分析の機能を内蔵
- IO-Linkにより運用中の制御機器の保全計画がITベースで簡単に実現



ifm – close to you!

### 3軸振動測定による確立された指標から機械を監視

振動センサVVB30xは、3軸の連続振動測定データから機械の状態に関する指標を計算し、損傷現象や異常兆候を診断します。これにより、機械部品の疲労 (v-RMS)・摩擦 (a-RMS)・衝撃 (a-Peak)・ベアリング損傷 (クレストファクタ) の情報が取得できます。また、機械の表面温度も測定・出力し摩耗の指標として利用できます。

基本の状態監視タイプのセンサは、アンバランス検出・分析により機械の稼働時間を振動レベルで検出します。データサイエンス状態監視タイプは、内蔵のBearingScout™機能によりベアリングの故障診断を行います。

### 制御システムとITレベルにデータフローを送信

IO-Link通信により、データをすべて制御機器とITレベルの両方に同時に送信して関連指標をーム等で読み込んで利用する、ITベースの状態監視が実現します。

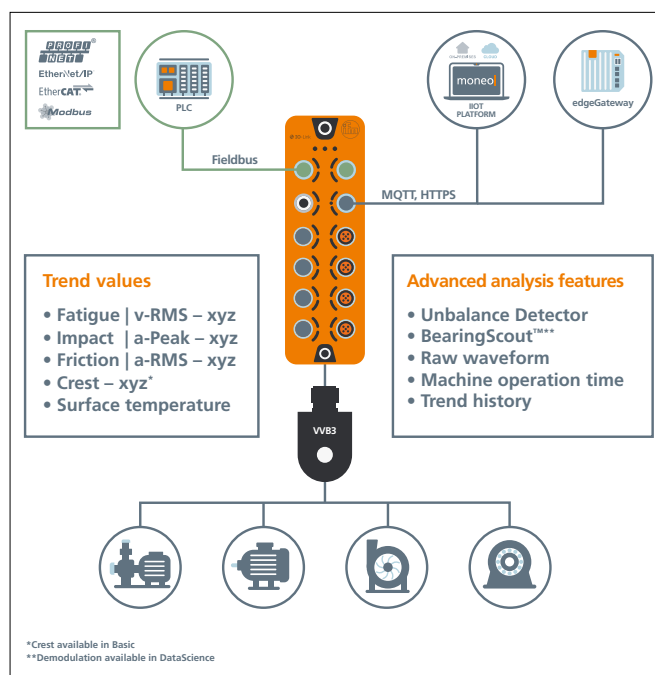
### DIN ISO 20816-3によるリミット値設定

VVB30xは、機械振動のリミット値を簡単に設定できます。機械振動規格ISO 20816-3による機械カテゴリを選択し、機械に応じたリミット値をシステムコマンドからセンサに送信・設定できます。リミット値の超過時は、内蔵のBLOBリングメモリにより詳細なエラー分析も簡単に実行できます。最大12秒間の生データの自動出力が可能です。またセンサは、過去9日間の内部特性値の履歴を出力できます。

振動センサVVB30xで、総合的な振動分析と詳細な機械監視をより簡単に行うことができます。

バージョン 状態監視	測定単位	製品コード
基本	m/s、m/s <sup>2</sup> 、°C	VVB301
データサイエンス	m/s、m/s <sup>2</sup> 、°C	VVB302
基本	mm/s、mg、°C	VVB305
データサイエンス	mm/s、mg、°C	VVB306

技術データ		
周波数範囲	[Hz]	2~5600
速度測定	[mm/s]	0~300
加速度測定	[g]	0~16
使用周囲温度	[°C]	-30~80
保護構造		IP67   IP68   IP69K

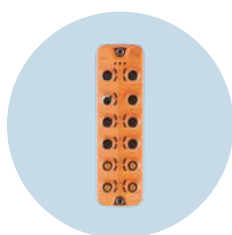


## BEST FRIENDS

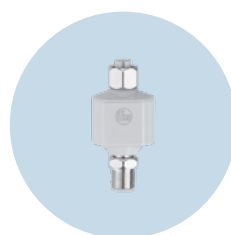
製品改良のため、記載事項を予告なしに変更する場合があります。11.2024  
ifm electronic gmbh · Friedrichstr. 1 · 45128 Essen



**moneo IoTプラットフォーム**  
状態監視を手軽に実現する  
分析ソフトウェア



**IO-Linkマスタ**  
フィールドバス通信対応、PLCと  
ITにデータを同時送信



**Bluetoothメッシュ**  
複雑な配線なしでITレベルへ  
接続



詳細情報はこちら：  
[ifm.com/fs/VVB301](http://ifm.com/fs/VVB301)